

令和3年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

区 名 東住吉区

学 校 名 北田辺小学校

学校長名 桐山佳晃

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立北田辺小学校では、第6学年 71名

令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語・算数ともに、平均正答率は全国を上回っている。（国語4.3ポイント、算数2.8ポイント）。

自ら学ぶ子の育成に向け、主体的な学びを追求し、校内研究を中心とした教科研究や習熟度別少人数学習の取組により、全体的な成果となったと考えられる。

しかし、個別的にみると課題を残す児童が多数存在する。きめ細やかな指導を今後も根気強く継続する必要がみられる。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕領域別で見ると「言葉の特徴や使い方に関する事項」70.2%、「話すこと・聞くこと」80.8%、「書くこと」71.2%、「読むこと」53.5%である。全国比で見るとバランスが良いと結果として出ているが、設問別で見ると「読むこと」にやや課題がある。読解力に関わる設問であるため、細かな分析と具体的な対策が必要である。

〔算数〕領域別で見ると「A数と計算」68.6%、「B図形」58.6%、「C測定」79.3%、「C変化と関係」79.3%、「Dデータの活用」78.8%である。全国比で見るとバランスが良いと結果として出ているが、設問別で見ると「A数と計算」と「B図形」にやや課題がある。基礎・基本の一層の定着が求められる。

質問紙調査より

自ら学ぶ子の育成に向け、①主体的な学び、②たくましい体、③思いやりの心、について考察する。

①「国語は好き」「算数は好き」65.7%・80.6%、「自分の思っていることを言葉で表すことができる」「友だちと話し合うことができる」68.6%・97%と高く、授業中での取り組みが見える。

②「毎日、朝食を食べている」「毎日、同じ時刻に寝ている」「毎日、同じ時刻に起きている」92.5%・86.5%・86.5%と高く、基本的な生活習慣が確立できている。

③「困っている人を助きたい」「将来の夢をもっている」「やると思ったらやり遂げる」91%・76.1%・82.1%と比較的高い。また、「自分には良いところがある」79.2%と自尊感情の高まりもみられる。

今後の取組(アクションプラン)

- ・習熟度別少人数学習を取り入れる単元を精選し、文章を読み取る力をつけるため、自分の考えを正確に記述できるよう学習活動を工夫する。また、学習の中に、自分の考えを相手に正しく伝える場面を取り入れる。

- ・「議論できる学級」を学級経営の基盤とし、あらゆる機会を通して、自分の考えを表出させ、受け入れられる学びの集団を形成する。

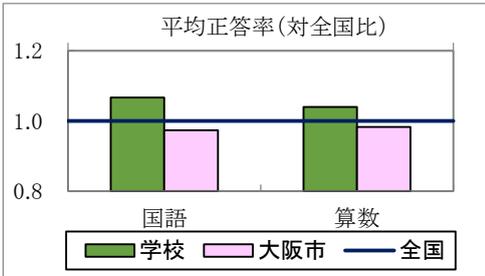
- ・学習したことが他の教科でも役立つことや、生活の中で活用できることを実感できるような体験的な学習活動を工夫する。

- ・学力向上推進指導校としての研修を充実させ、校内研究を通して、教科指導の実践力を高める。

【 全体の概要 】

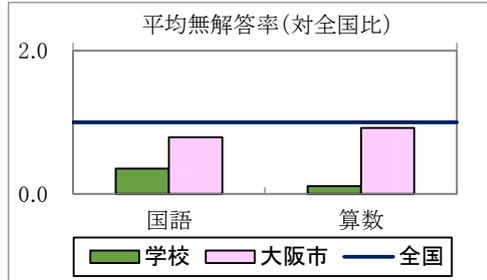
平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	69.0	73.0
大阪市	63.0	69.0
全国	64.7	70.2



平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	1.5	0.3
大阪市	3.4	2.4
全国	4.3	2.6



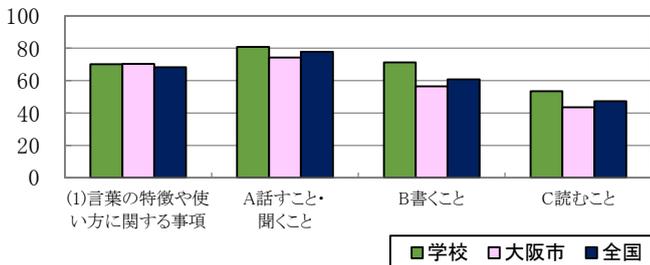
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	6	70.2	70.3	68.3
(2)情報の扱い方に関する事項	0	0.0	0.0	0.0
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	0.0	0.0	0.0
A 話すこと・聞くこと	3	80.8	74.3	77.8
B 書くこと	2	71.2	56.4	60.7
C 読むこと	3	53.5	43.5	47.2

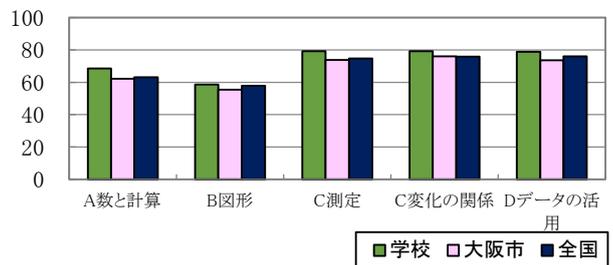
【 算 数 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	4	68.6	62.2	63.1
B 図形	3	58.6	55.4	57.9
C 測定	3	79.3	73.8	74.8
C 変化と関係	3	79.3	76.0	75.9
D データの活用	5	78.8	73.6	76.0

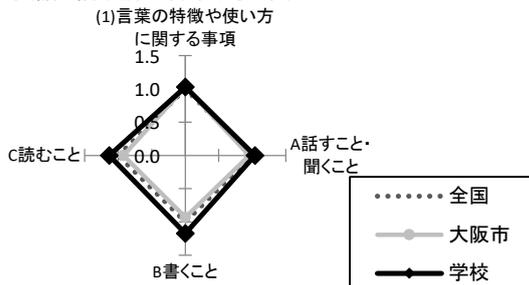
国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



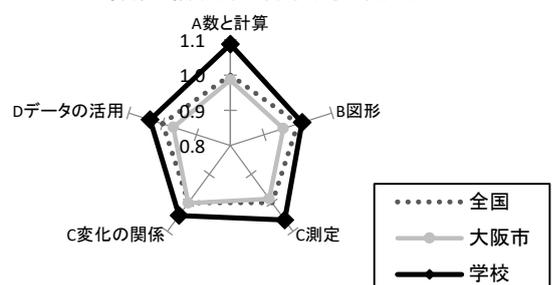
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語 領域別正答率(対全国比)



算数 領域別正答率(対全国比)



児童質問紙より

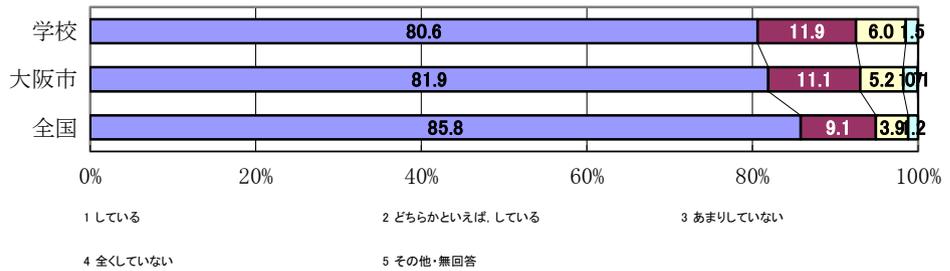
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

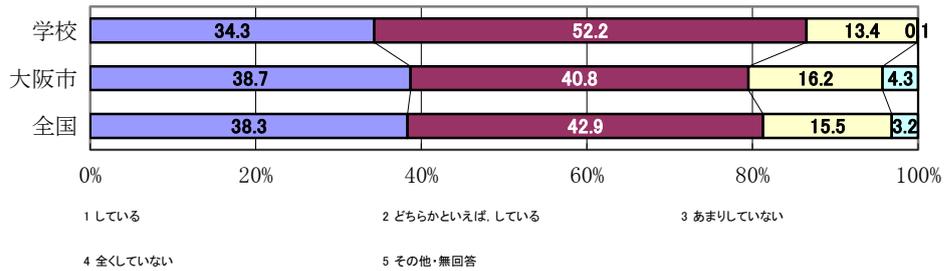
1

朝食を毎日食べていますか



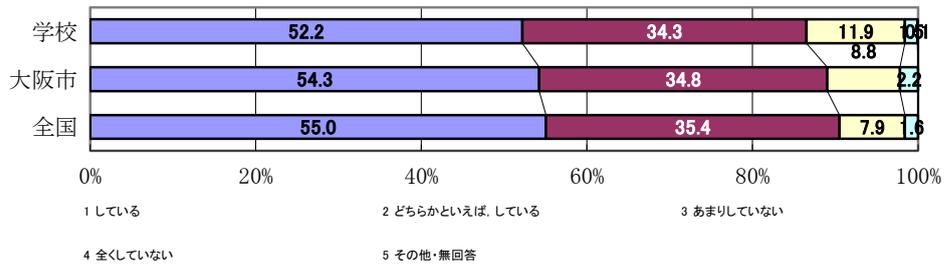
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



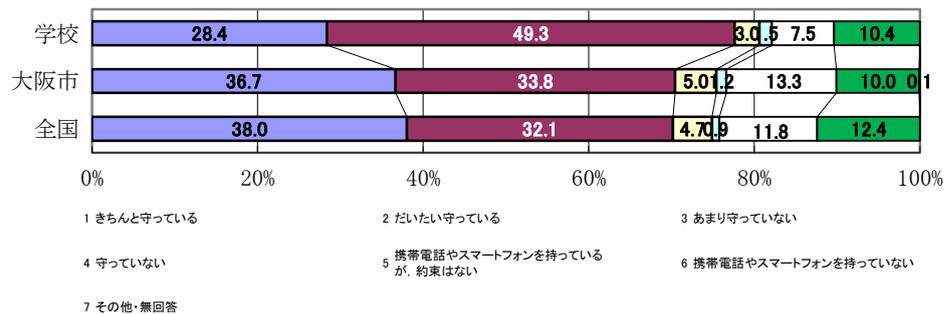
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



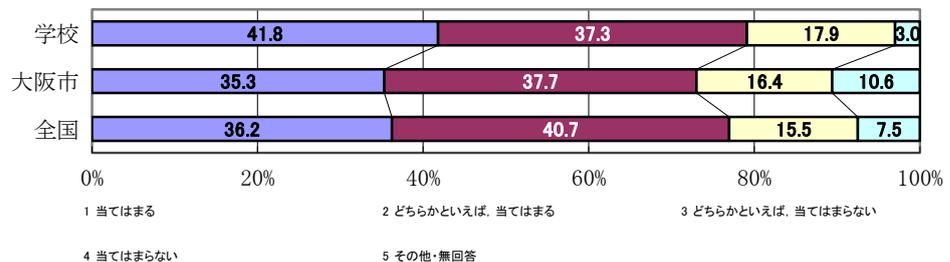
4

携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか



6

自分には、よいところがあると思いますか



児童質問紙より

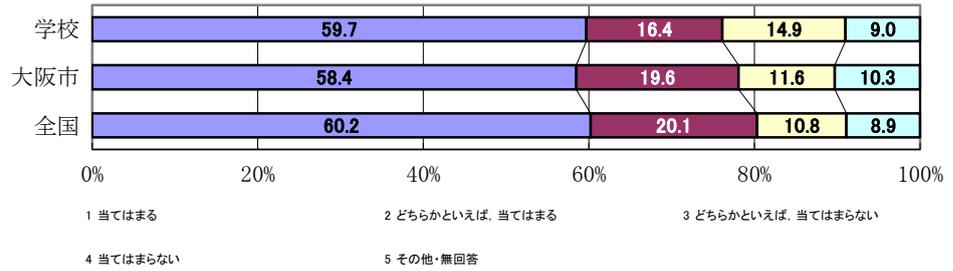
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

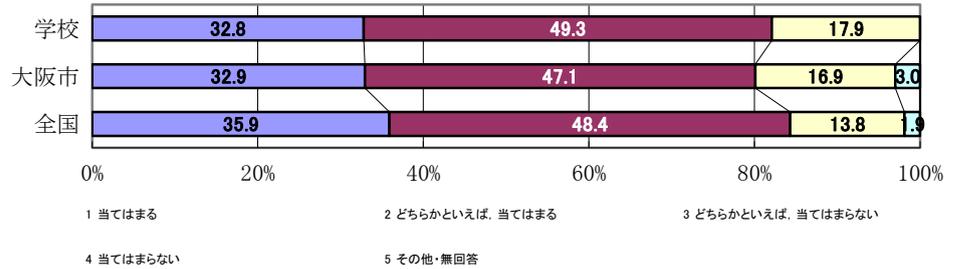
7

将来の夢や目標を持っていますか



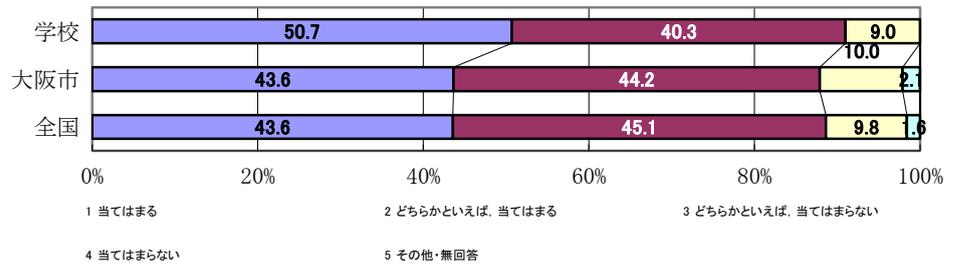
8

自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか



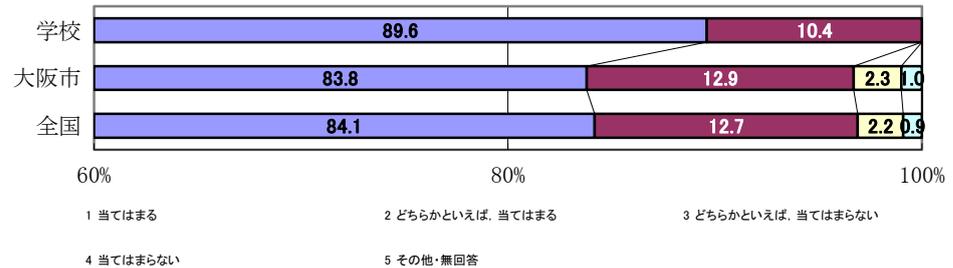
10

人が困っているときは、進んで助けていますか



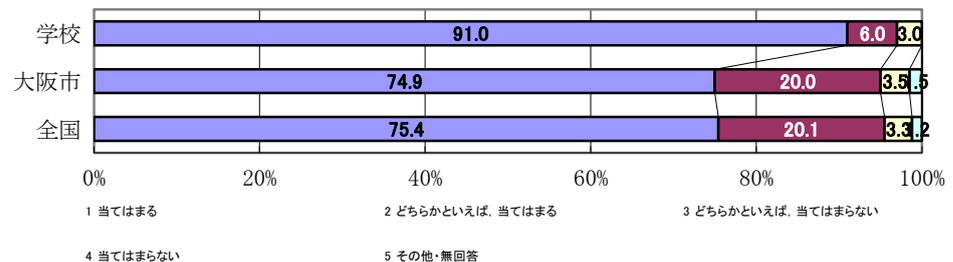
11

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



12

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



児童質問紙より

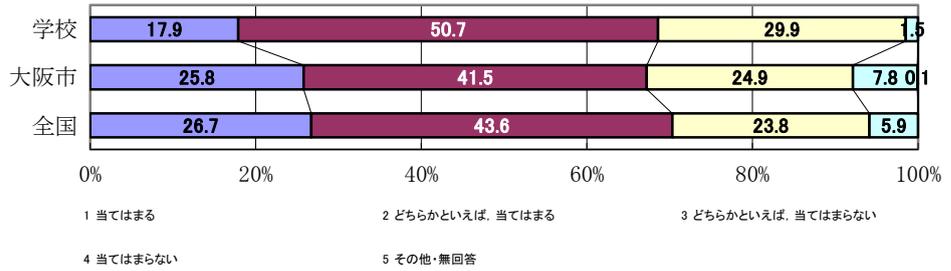
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

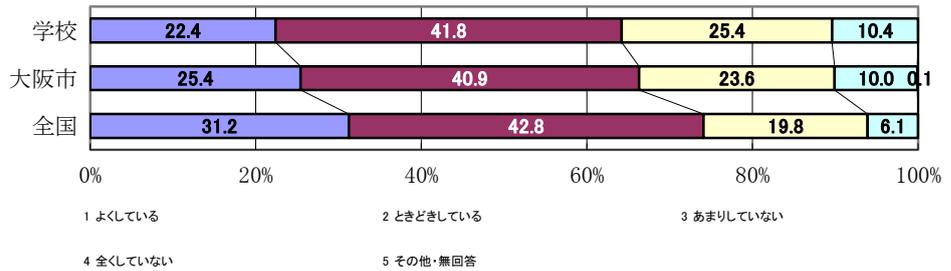
14

自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか



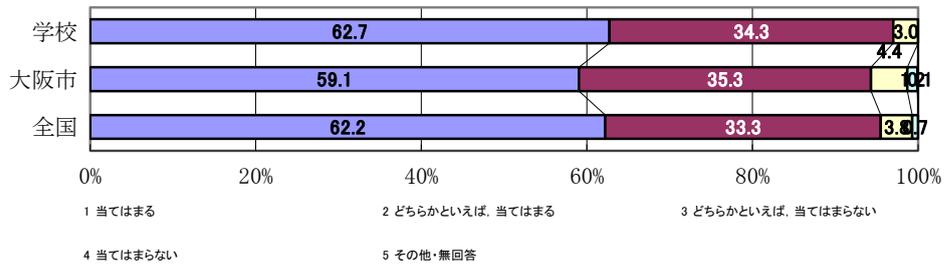
17

家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)



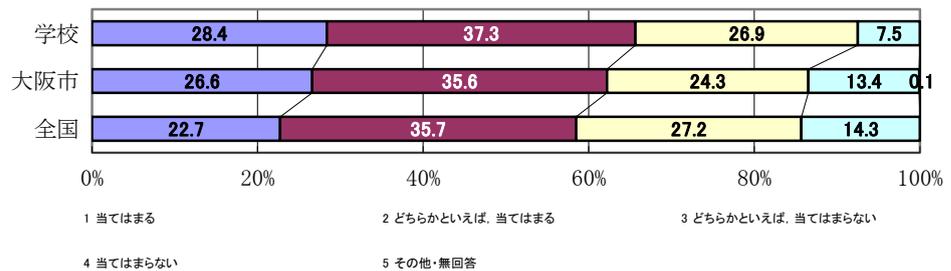
36

友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか



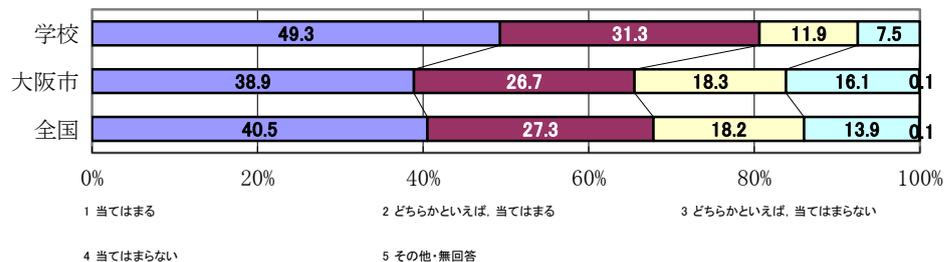
43

国語の勉強は好きですか



52

算数の勉強は好きですか



学校質問紙より

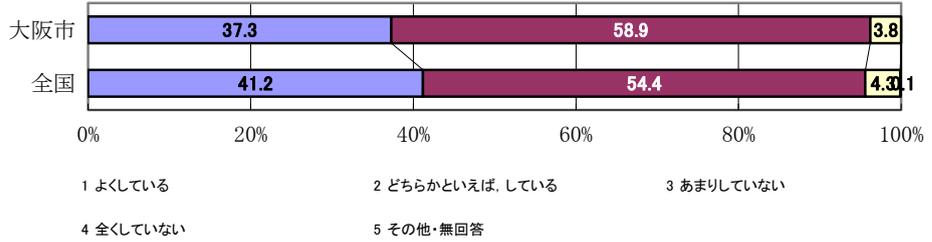
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

21

言語活動について、国語科だけではなく、各教科、特別の教科道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか

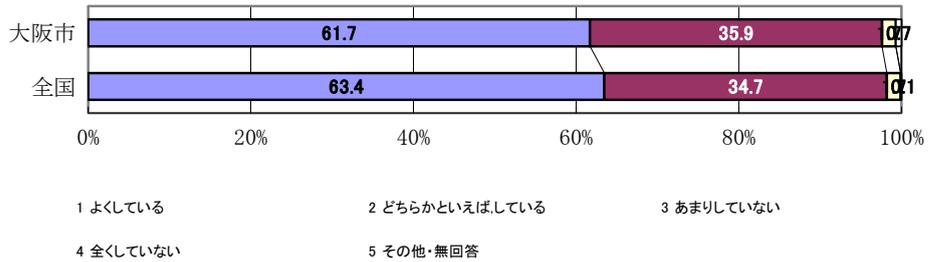
学校 「どちらかといえば、している」を選択



23

授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っていますか

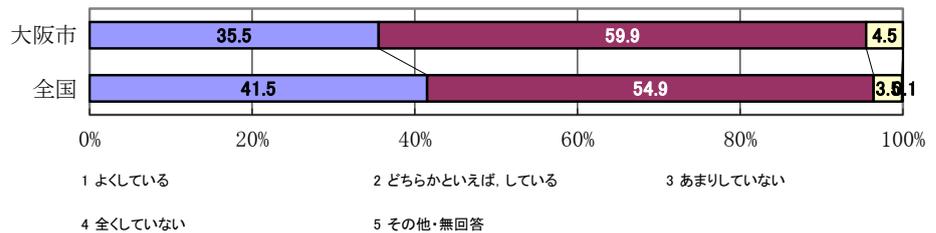
学校 「どちらかといえば、している」を選択



27

学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力していますか

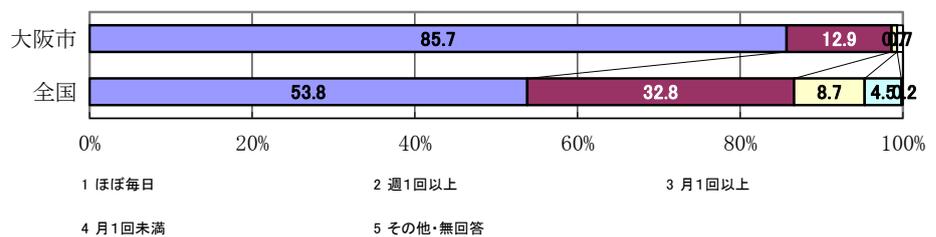
学校 「どちらかといえば、している」を選択



66

前年度に、教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板など)などのICTを活用した授業を1クラス当たり、どの程度行いましたか

学校 「ほぼ毎日」を選択



82

保護者や地域の方が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか

学校 「よく参加している」を選択

